

小笠地区では稲刈りも始まり、虫の音色など少しずつ秋の気配を感じられるようになってきました。早く過ごしやすい気候になってもらいたいものですが、まだまだ残暑厳しいようです。

さて、残暑に関わる感染対策のお話となりますが、新型コロナウイルス感染症では第2波、5波、7波と夏場の流行が見られています。今年も徐々に感染者数が増えており第9波を迎えていると言われていますが、エアコン使用による換気の不徹底も原因のひとつと言われています。熱中症にも注意を払いながら昨年まで経験してきた感染対策を活かすようにしていきましょう。



新型コロナウイルス感染症への対応は一般的には緩やかなものとなっていますが、福祉施設ではまだまだ注意を払っている状況にありますので、当センターでは引き続き以下の対応をお願いさせていただきます。

【新型コロナウイルス感染症の場合】本人感染や同居者感染時のお休み頂く期間は「感染者は10日間以上、濃厚接触の疑いがある場合は感染対策がとられてから5日間」を基本とさせていただきます。

また、ご利用前の体調確認もお願い致します。普段とは違う症状（発熱、咳、下痢等など）が見られるときにはデイサービスをお休みして、かかりつけ医の受診をし、病気の早期発見・治療を心掛けましょう。感染症対策だけでなく自己免疫力を高める生活習慣にも取り組みましょう。

ボランティアの受け入れをしています！

市内中高生のボランティアさん、ハーモニカ演奏ボランティアさんなどデイサービスを訪れて活動を盛り上げて頂いております。

演奏に合わせて歌うこと、世代を超えた交流など、様々な刺激を受けながら一緒に楽しい時間を過ごさせて頂いております。



収穫の秋？

暑い季節にも水かけや草取りをがんばり、様々な作物を収穫することが出来ました。



清松園・ぴのほーぷとの合同研修を行いました。

7/28 合同研修会が行われ、症例検討や「ユニバーサルツーリズム」について学びました。集合型研修を実施で来たことから意見交換の場が良い交流機会ともなりました。

